

ピロコッカス・フリオーサス由来のネイティブヘキソキナーゼ (ADP依存性)

Cat. No. NATE-1135

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、ADP依存性ヘキソキナーゼ (EC 2.7.1.147) は、次の化学反応を触媒する酵素です: D-グルコース + ADP → D-グルコース-6-リン酸 + AMP。

用途 ADPの酵素的測定に役立ちます。

別名 ADP依存性グルコキナーゼ; ADP特異的グルコキナーゼ; ADP:D-グルコース 6-ホスホトランスフェラーゼ; EC 2.7.1.147

製品情報

由来 パイロコッカス・フリオーサス

外形 白色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号 EC 2.7.1.147

CAS登録番号 173585-07-4

分子量 100 kDa (gel filtration) 51 kDa (SDS-PAGE)

活性 30 U/mg 以上の固体

混入物 NADPHオキシダーゼ < 0.01%; ATPアーゼ < 0.01%

等電点 5.1

pH安定性 5.0–10.0

最適pH 7.5

熱安定性 95°C以下で安定

最適温度 100°C

ミカエリス定数 グルコース 0.64 mM (37°Cで) ADP 0.07 mM (37°Cで)

活性化因子 Mg²⁺, Co²⁺, Mn²⁺

単位定義 1単位は、アッセイ手順で指定された条件下で、37°Cで1μモルのグルコースをD-グルコース-6-リン酸に変換する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 乾燥剤の存在下で-20°Cでの保管が推奨されます。